

欧州馬術レポート

週刊 Gallop 2020年3月号掲載

馬耳蘭風 —オランダ奮闘記—

佐々紫苑

Shion Sassa



陸上界では新記録を次々と生み出す魔法のような厚底シューズが話題になりましたが、愛馬QUANDOも先日新しい靴に履き替えました。といっても、馬にとっての靴は蹄に付ける「蹄鉄」です。細い四肢で大きな体を支える馬にとって、一番大切な身体のケアである装蹄。蹄は1カ月に8^{ミリ}程度伸びるので、月に一度は装蹄師さんに調整してもらいます。蹄鉄の形は通常U字型ですが、馬によってはハート形や真ん丸の蹄鉄もあり



明松寺馬事公苑所属

◆佐々紫苑

(さっさ・しおん)

1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全国日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全国日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。大学では4年連続で学業優秀賞を受賞。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

り、馬の体調や体形に合わせて調整します。わずかな削蹄のズレ、数^{ミリ}の左右非対称な蹄が、毎日の運動の中で馬の腱に徐々に悪影響を与え、故障につながることも…。これは回復するまでにとっても時間がかかってしまうので、自分の馬に合った装蹄をしてくれる信頼できる装蹄師さんに巡り合い、情報を共有しながら最適な鉄を



「ミスター、いつもありがとう」とQUANDOも言っています(本人提供)

打ってもらえることは、馬にも乗り手にとっても本当に幸せなことなのです。

そして、皆さんにご報告があります。オランダでの約2年半の武者修行を終えて、私もいよいよ東京へ戻ります。馬術の本場ヨーロッパで学んだ常にホースファーストの姿勢を忘れずに、4月からはJRAの一員として馬術の魅力を伝えつつ、選手としての活動を続けていくことになりました。競馬ファンの皆さんにも、馬術に興味を持っていただけるように頑張ります!

Let's enjoy Dressage

高田茉莉亜

Maria Takada



アイリッシュアラン乗馬学校所属

◆高田茉莉亜

(たかだ・まりあ)

1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権連覇。16年の全日本ヤングライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

新型コロナウイルスの流行がヨーロッパでも大きく広がっています。ドイツでは4月の半ばまで外出制限がかかっており、営業可能なのはスーパーマーケットや薬局など日常生活に欠かせない店のみ。ドイツではジャガイモやパスタ、小麦粉などの買い占めが目立っています。

そんな外出制限がかかる直前、厩舎から30分ほどの場所で行われた国際馬術大会へ、同じ所属先の林伸伍選手のサポートとして行ってきました。会場はドルトムントという街の大きなドーム。新型コロナウイルスの影響で、今年は無観客で開催されることが大会の前日に決まり、会場内は選手と関係者のみという閑散とした雰囲気でした。3日かけて行われた大会の最終日には、その日の競技が中止になることが急遽決定し、会場は大混乱でした。

日本の競馬は無観客での開催が続いていますが、ヨーロッパでは馬術や競馬を含め、さまざまなイベントの中止が発表されました。私が出場を予定していた大会も続々とキャンセルになり、しばらくは馬のトレーニングとケアを地道に行っていくことになりそうです。

無観客のメインアリーナへ入場する林選手(本人提供)

